

「鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入 促進検討業務」調査結果の概要について

平成25年6月
沖縄県企画部

調査の視点

1 総合交通体系基本計画の策定

*拠点間を連絡する鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入

2 内閣府調査結果の活用

*内閣府調査において示された課題等を踏まえ、早期導入実現化に向けた検討を実施

3 沖縄の特殊事情



可能性調査ではなく実現化戦略調査

調査の構成

- 1 上位計画における位置づけ等を踏まえた鉄軌道等に求められる機能・効果についての検討
- 2 事業性の検討
- 3 持続的な運営を可能にする特例的な制度等に関する検討
- 4 建設及び運営コスト削減のための技術開発に関する検討
- 5 事業の合意形成を促進する方策の検討及び実施
- 6 鉄軌道を含む新たな公共交通システムのイメージ検討

整備の意義・必要性

沖縄県における骨格的な鉄軌道の整備は、交通課題への対応の観点からだけでなく、今後の沖縄振興という大きなミッションの下で、意義・必要性は高い。

- 1 県土構造の構築
 - 1)均衡ある県土構造の構築
 - 2)北部振興
 - 3)拠点形成への寄与
- 2 総合交通体系
 - 1)都市間移動の所要時間短縮、定時性向上
 - 2)中南部都市圏の総合交通体系の構築
 - 3)過度な自家用車依存からの脱却
- 3 産業・経済の振興
 - 1)観光・交流の活性化
 - 2)新たな産業立地促進
- 4 まちづくり
 - 1)千年悠久の人間に優しいまちづくりの実現
 - 2)駐留軍用地跡地のまちづくりの促進

導入に向けての基本方針

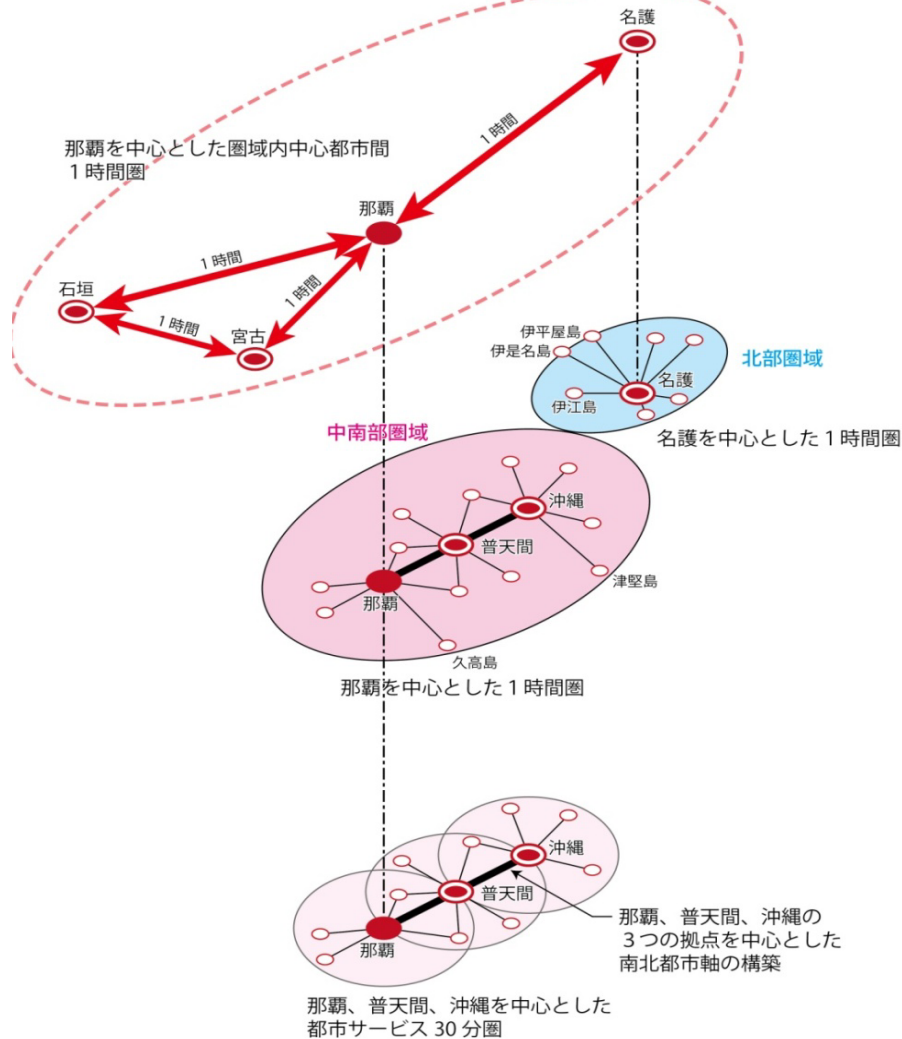
- 1 問題解決型ではなく、未来志向型の取組による「沖縄モデル」の実現
- 2 各種施策のパッケージ化による推進
- 3 新技術の積極的な採用

調査結果の概要

沖縄県が目指す県土構造

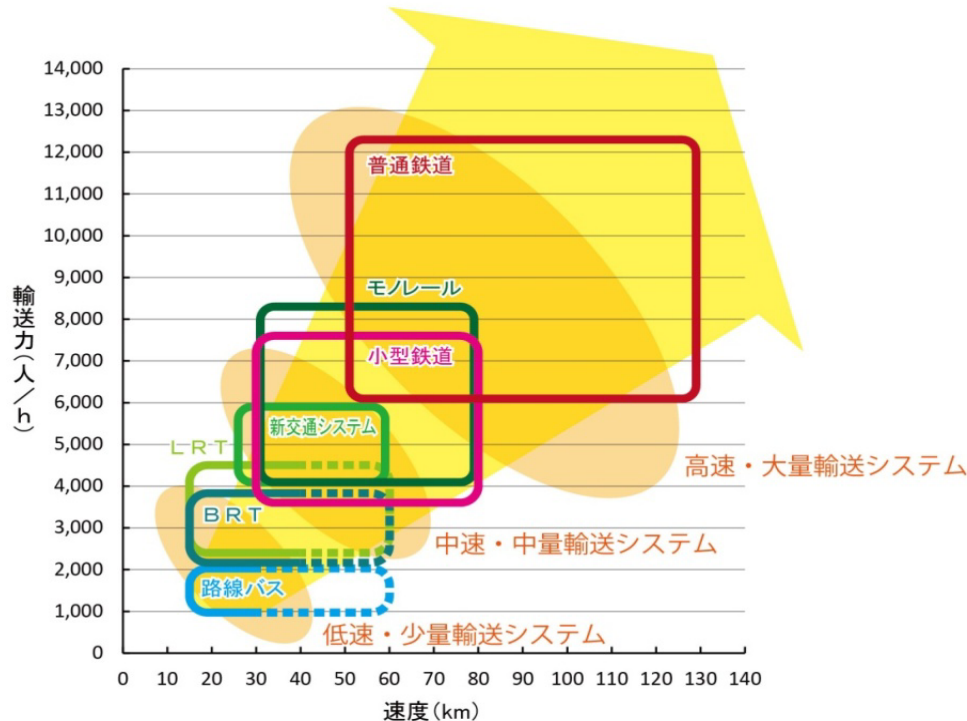
～沖縄県総合交通体系基本計画～

イメージ

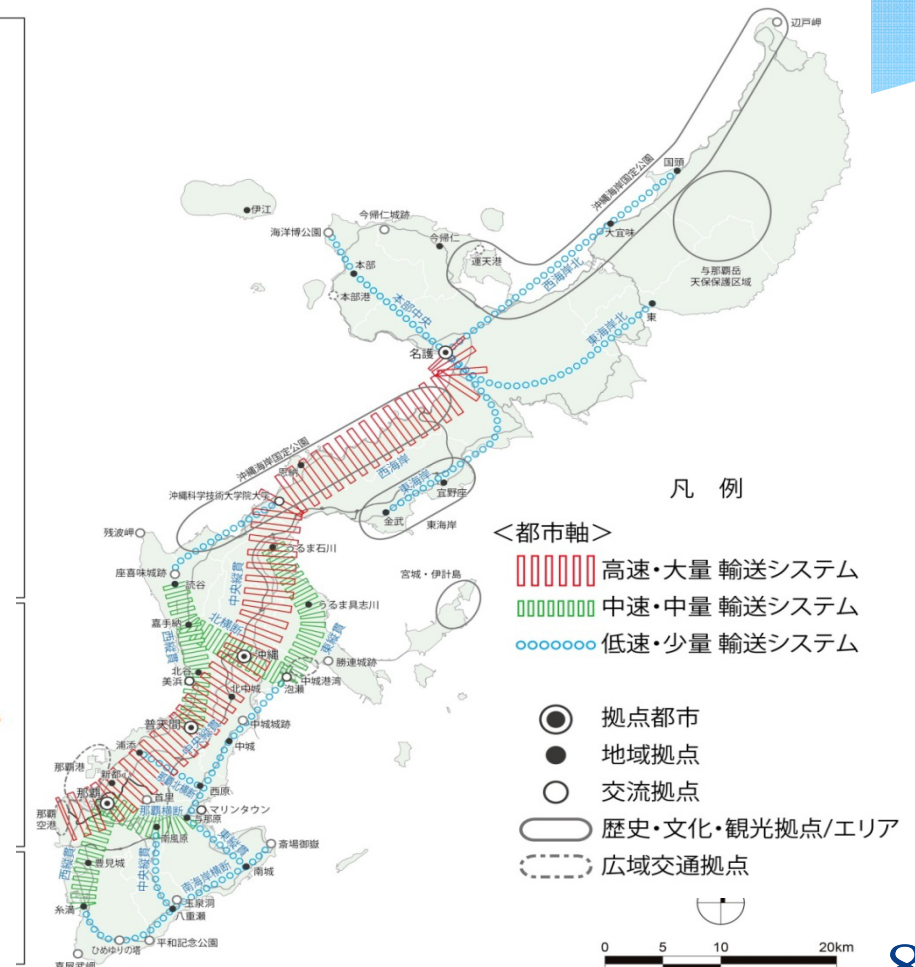


都市軸に求められる交通システム

- * 都市軸の位置付けや軸上の人口、交通流動を踏まえて大まかな交通システムを階層的に設定
- * なお、都市軸に求められるシステムは、検討の深度化により適宜見直されることもある



【速度と輸送力による交通システムの対応領域】



【都市軸とそれに求められる交通システム】

新たな公共交通システムに 求められる機能

- 1 沖縄県が目指す県土構造においては、沖縄本島の南北骨格軸である那覇－名護間を1時間で結ぶことを目標としている
- 2 目標の実現には、表定速度70km/h、最高速度100km/h以上の高速性能を有し、必要な輸送力を確保できる公共交通システムが必要
- 3 併せて支線となる地域内フィーダー交通との連携、交通結節点の整備等を図り、総合的な公共交通体系を構築することが重要